

進化型実務家教員

養成プログラム(TEEP) 一般公開・無料
定員100名(先着順)

シンポジウム

■日時 / 10月21日(水) 13:30~15:30
 ■開催方法 / Zoomによるオンライン開催

- 名古屋市立大学を中核校とするコンソーシアムが昨年、進化型実務家教員養成プログラム(TEEP)を文部科学省に申請し、国の補助事業として承認されました(連携校:岐阜薬科大学・高知県立大学・中京大学)。
- Society 5.0(超スマート社会)の到来を前に、高度人材育成への関心が高まっています。そのカギを握るのが、産学の架け橋となる実務家教員です。
- 本シンポジウムでは、企業関係者と実務家教員を招聘し、今後の実務家教員の使命と大学変革の可能性について、産学間の対話を進めます。

産業界と大学の架け橋を目指して
 実務家教員養成プログラムの挑戦

- 開会挨拶 13:30~13:35 郡 健二郎 名古屋市立大学 理事長・学長
- 来賓挨拶 13:35~13:45 木谷 慎一 文部科学省 高等教育局 専門教育課 課長補佐

〈第1部〉

- 基調講演 13:45~14:10
- テーマ: 「進化型実務家教員が求められる背景」
- 講師: 鵜飼 宏成 名古屋市立大学 副理事・大学院経済学研究科 教授
TEEPコンソーシアム実施委員会 委員長

〈第2部〉

- パネルディスカッション 14:15~15:25
- テーマ: 「産業界から見た実務家教員の可能性」
- 登壇者: (報告順) 奥村 隆一 株式会社三菱総合研究所 プラチナ社会センター兼
キャリアイノベーション本部 主席研究員
- 三輪 真資 株式会社パソナグループ 成長戦略本部
HR Tech チーム マネージャー
- 鈴木 武裕 株式会社愛知銀行 執行役員 法人営業部長
- 北見 幸一 東京都市大学 都市生活学部 /
大学院環境情報学研究科 准教授
- ファシリテーター:
小林 直三 名古屋市立大学 副理事・大学院人間文化研究科 教授

- 閉会挨拶 15:25~15:30 伊藤 恭彦 名古屋市立大学 理事・副学長
大学院人間文化研究科 教授

[10月1日(木)受付開始] 参加申込はこちらから <https://teep-consortium.jp/>

